

新春記者会見資料

日 時：令和3年1月8日（金） 午前11時～
場 所：市役所2階 庁議室

○ はじめに

明けましておめでとうございます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の「第3波」が収束をみない中、皆様方におかれましては、感染防止対策をご実践いただきながら、静かな一年の始まりを迎えられたことと思います。

ご承知のとおり、国は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについて、安全性、有効性の確認を最優先に、令和3年前半までに全ての国民に提供できる数量を確保することとしており、これを受けて、本市でも、新年早々、国や県、関係機関と連携・協力し、全庁あげて、スピード感をもって、接種に必要な実施体制の準備を進めてまいります。ワクチンの供給時期や供給量が鍵となるわけですが、年頭にあたり、本年こそは新型コロナウイルス感染症が終息し、笑顔と希望の溢れる日常が取り戻せるよう切に願うとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

○ 昨年を振り返って

昨年は、1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症患者の発生が確認されてから、その対応・対策に追われた1年でありました。

市では、3月に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、以降、感染相談窓口の案内や感染予防の啓発はもとより、感染拡大防止のための環境整備や市民や事業者の皆様を支援する取組を進めてまいりました。

この間、国内外では幾度となく感染が急拡大する場面がございましたが、本市では、医療関係従事者の皆様をはじめ、市民や事業者の皆様、地域や各種団体の皆様が、長期にわたり緊張感を持って感染予防の徹底と感染拡大防止の取組にご協力いただいていることにより、感染拡大が抑制されております。

しかし、油断は禁物であります。感染拡大の第3波に直面している今、改めて気を引き締めなおし、「マスクの着用」、「手洗い・うがい、手指消毒の実施」、「人との距離の確保」「3つの密の回避」など感染予防の取組を徹底していただきますよう、市民や事業者の皆様のご協力をお願いいたします。

昨年11月に開催された「知事と市長の1対1対談」では、新型コロナウイルス感染症の対応・対策に関連する2つのテーマについて話し合いました。1つが「新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ流行に備えた体制整備」。もう1つが「ウィズコロナと地方創生」です。

1つ目のテーマでは、検査体制と医療提供体制の整備を中心に、県と市、医師会が万全の体制で臨んでいることを確認いたしました。2つ目のテーマでは、東京、大阪、名古屋の大都市から地方への人の流れが起きており、この数か月は、東京では転出超過が続いております。そこで、地方自治体は、この流れを一過性のものとせず、むしろ加速させ、「地方創生」へとつなげていくべく県と市が連携協働して取り組むことを確認いたしましたところでもあります。

○ 令和3年の施策展望

まずもっては、県や関係機関と連携・協力しながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策・対応を進めるとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済の回復と市民生活を支援する取組を抜かりなく進めてまいります。

総合計画「新・理想郷プラン」の第2次基本計画は3年目に入りますが、適切な施策評価と進捗管理を行い、各施策の目標達成に向けた取組と持続可能な行財政運営に向けた取組を引き続き推進してまいります。

また、人口減少に耐え得る魅力的なまちづくりを進めるため、昨年3月に策定した「第2期名張市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、総合計画と連動した「元気創造」「若者定住」「生涯現役」の3つの重点戦略を柱とする各種施策を推進してまいります。

昨年の12月定例会において、都市振興税を3年間延長させていただく議案をご決議いただきました。市民・事業者の皆様には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などにより厳しい経済状況にある中、引き続きのご負担をお願いすることになりますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、コロナ禍ではありますが、できるだけ早く説明会を開催させていただきたいと思っております。

本年は、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の開催が予定されております。「三重とこわか国体」では、名張市を来訪される全国の選手や大会関係者を「おもてなしの心」で温かく迎えるべく万全の体制で準備を進めてまいりますので、皆様方のご協力を重ねてお願いいたします。

昨年一年間のコロナ禍を通して経験したこと、改めて気付かされた「人と人とのつながり」をしっかりと胸にとどめ、市民の皆様と共に築き上げ

てきた「地域共生社会」の取組を深化・発展させながら、名張市一丸と
なって、コロナ禍を乗り越えてまいりたいと思います。

それでは、今年の主な施策について総合計画の5つの基本目標ごとに
申し上げます。

1. 支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応 【医療福祉総務室】

市民の命と健康、暮らしを守るため、県や関係機関と連携し、新
型コロナウイルスのワクチン接種についての体制整備や「市PCR
検査センター」の運営をはじめ、地域医療体制の確保、生活支援、
感染予防対策等に万全の態勢で臨んでまいります。

(2) 「性の多様性を認め合うまち・なばり」の推進

【人権・男女共同参画推進室】

昨年9月定例会において、「性の多様性を認め合うまち・なばり」
の宣言をご決議いただき、県においても「(仮称)性の多様性を尊重
し、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」の制定に向け、現
在検討が進められております。こうした県の動向を注視しつつ、ま
ずは、行政文書における性別欄記載の見直しを進めるほか、「性の多
様性」について広く市民の皆様に周知啓発を図ってまいります。

(3) 多文化共生社会の推進 【人権・男女共同参画推進室】

昨年2月に開設した「多文化共生センター」が核となり、在住外
国人への情報発信や相談支援など様々な支援のあり方を十分に検
討し、誰もが安心して暮らせる多文化共生社会の実現に向けた取組
を進めてまいります。

(4) リンクワーカーの養成

【地域包括支援センター】

地域包括支援センター並びに地域福祉教育総合支援ネットワー
クの機能強化に向け、関係機関や各種団体、地域社会との「つなぎ」
や「伴走型の支援」、「社会的処方」ができる人材の養成に取り組ん
でまいります。

(5) 市立病院機能の充実 **【市立病院 総務企画室】**

令和3年度に策定する「第3次名張市立病院改革プラン」に基づき戦略的に経営改革を進め、病院機能を一層充実させてまいります。

また、昨年4月に運用を開始した「地域包括ケア病棟」を活用することにより、在宅医療や地域包括ケアシステムのさらなる推進につなげるとともに、「産婦人科」については、大学等、関係機関と調整を行い、開設に向けて取り組んでまいります。

なお、ウィズコロナに対応した感染対策を行い、市民に安心して受診いただけるよう院内環境の整備を図ってまいります。

(6) 健康寿命延伸に向けた取組の推進 **【健康・子育て支援室】**

市民が主体的に取り組む健康づくりを総合的に支援するとともに、特定健診やがん検診の受診率向上、生活習慣病予防に取り組んでまいります。また、「名張ケンコー！マイレージ事業」を通して、地域づくり組織や関係機関と連携し、さらなる健康寿命の延伸に向けた取組を進めてまいります。

高齢者への保健事業と介護予防の一体化事業では、運動や口腔、栄養などのフレイル対策に取り組み、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援を進めてまいります。

(7) 妊婦応援都市の具現化に向けた取組の推進 **【健康・子育て支援室】**

「名張版ネウボラ」の更なる推進と、多様な保育や地域の子育て支援の担い手となる子育て支援員の養成、活動支援に取り組んでまいります。また、こそだてサポーターの輪を広げ、社会全体で子どもの育ちを支える風土づくりを進めてまいります。

(8) 放課後児童クラブの運営と施設整備の推進 **【子ども家庭室】**

放課後児童クラブの利用を希望する全ての児童の受入れに向けて、施設の拡充等を進めてまいります。

(9) 待機児童対策に向けた取組の推進 **【保育幼稚園室】**

待機児童の解消を図るため、平成27年度から地域型保育事業の新設や認定こども園化に向けた施設整備等を進め、令和2年4月1日時点の待機児童はゼロとすることができました。しかし、保育士が不足していることから、市主催の「就職フェア」の開催や潜在保育士の復職支援などに取り組む、復職希望者向けの研修や保育実習等を組み込

んだプログラムを作成するなど、復職に向けたバックアップ体制を充実してまいります。

2. 美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち

(1) 指定ごみ袋の価格引下げの実施

【環境対策室、伊賀南部環境衛生組合】

昨年4月から、容器包装プラスチック等の分別方法を変更したことに伴い、指定ごみ袋購入による市民の家計負担が増していることから、本年2月1日より指定ごみ袋の価格引下げを実施いたします。なお、混乱等が生じないように、市民や取扱店等に対して事前の周知を行うとともに価格引下げ後にごみの量が増えないよう、ごみの減量化・資源化に向けた啓発などを進めてまいります。

(2) 安全で安心なまちづくり

【危機管理室】

これまで取り組んでまいりました台風や集中豪雨、南海トラフ地震等の自然災害への防災・減災対策を進めるとともに、地域や関係機関との連携・協力のもと、避難所における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を含めて、ウィズコロナとアフターコロナを見据えた自然災害に対する防災活動のあり方を研究してまいります。

(3) 消防救急体制の充実強化

【名張市消防本部】

複雑・多様化する警防・救助・救急事案に対して、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら的確に対応するため、感染防護服などの装備の充実と隊員の知識、技術の向上に努めるとともに、隣接消防本部との連携・協力体制の強化に取り組んでまいります。

また、地震、風水害等の大規模自然災害に備え、地域防災の要となる消防団や消防団活動協力員の確保に取り組むとともに、発災時に消防応援部隊の迅速な受入れができるよう「消防受援計画」の充実を図ってまいります。

(4) 名張川河川改修事業の推進

【道路河川室】

国土交通省の「淀川水系河川整備計画」に基づき、令和元年度より本格的な工事に着手いただいております。事業の早期完成に向け、引き続き国に強く要望するとともに、市としても事業推進に協力し

てまいります。また、「名張かわまちづくり事業」では、名張かわまちづくり協議会において水辺空間を有効利用した地域の活性化や賑わい創出を検討いただいております、令和2年度中に階段護岸の整備にも一部着手いただく予定となっております。

(5) 水道施設の更新や公共下水道整備、下水道施設の改築・更新

【上下水道部】

上水道事業では、新たに策定する「第2次名張市水道ビジョン」に基づき、計画的に施設の機械・電気設備や老朽管の更新工事を進め、市民の皆様のライフラインの確保に努めてまいります。

下水道事業では、公共下水道区域の拡大整備として、事業認可を受けた北部地域の管渠詳細設計や幹線管渠工事を進めるとともに、中央浄化センターにおいて、生活排水処理施設の新設並びに水処理施設の増設事業の本格的な工事着手を予定しております。

また、既存下水道施設の改築・更新については、国の交付金を活用し、公共下水道ストックマネジメント計画の策定と農業集落排水の機能強化対策に取り組んでまいります。

(6) 空き家対策の推進

【営繕住宅室】

移住・定住につながるよう、空き家バンクをはじめとした空き家の利活用の促進を図るとともに、空き家の適正管理並びに利活用が困難で著しく危険な空家等の除却支援についても、積極的に取り組んでまいります。

(7) 地籍調査事業の推進

【用地対策室】

令和2年度から令和11年度までを計画期間とする「第2次名張市地籍調査事業実施計画」に基づき、地籍調査事業を一層推進してまいります。

(8) 東山墓園復旧工事の推進

【環境対策室 東山墓園復旧担当】

令和元年10月より本復旧工事に着手し、昨年4月には崩落土に残る全ての墓石・遺骨等の引上げが完了しました。令和2年度中に園路・崩落箇所等の復旧工事を完了し、令和3年度には合同追悼所を建立し、全ての復旧工事が終了する予定です。

今後も、関係者のご理解とご協力のもと、一日も早い復旧に向け全力で取り組んでまいります。

3. 活気に満ちて暮らせるまち

(1) 多彩な担い手が活躍する「なばり農業」の推進 【農林資源室】

担い手不足により耕作放棄地が増えつつあることから、地域農業の将来ビジョンを定めた「人・農地プラン」の実質化を推進してまいります。また、「小さい農業」を提唱し、高収益作物に取り組む新規就農者や「農」のある暮らしを求める都市部からの移住・定住者の受入れなど、多彩な担い手が活躍する「なばり農業」を目指してまいります。

(2) 農山村地域の公益的機能の維持・発揮 【農林資源室】

多面的機能支払交付金による地域の共同作業の支援や農村地域防災減災事業による「ため池耐震調査」などに取り組んでまいります。また、森林環境譲与税の活用により、森林所有者自らが管理できない森林を市が計画的に経営管理権を取得し間伐等を行うことにより、森林環境の保全を図ってまいります。

(3) 地域産業の振興 【商工経済室】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、今後の経営状態に不安を抱いている市内事業者が多く存在することから、国や県、名張商工会議所との情報共有や連絡を密にし、相談体制を強化してまいります。加えて、名張市経済好循環推進協議会の事業展開を通して、市内事業所がピンチをチャンスに変えていけるよう支援してまいります。

(4) いきいきと働けるまちづくり 【商工経済室】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により人材需要の停滞などの影響を受けている中小企業・小規模事業者が、コロナ終息の後も人材確保が可能となるよう、アフターコロナを見据えた新しい働き方を提案してまいります。

(5) 観光の振興 【観光交流室】

市内観光産業の発展に向け、関係団体や事業者とともに「安全・安心な観光地づくり」に取り組んでまいります。合わせて、自然体験観光が注目される中、新たに、東奈良名張圏域の自然と木津川水系ダム群を巡るサイクリングコースづくりや、そのコースを活用した「ガイド付きサイクリングツアー」の実施検討を進めてまいります。

4. 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち

(1) 「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」の策定

【教育総務室】

令和3年度から5年間を計画期間とする「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」の策定を進めており、前期計画の取組の継続と合わせて、子どもの情報活用能力の育成、持続可能な社会の創り手となるための教育の推進、スクール・コミュニティ体制の構築を新たな施策として、市民総ぐるみで教育環境を整えてまいります。

(2) 小・中学校の施設整備

【教育総務室】

令和2年度は、小・中学校13校を対象に太陽光発電設備の整備を行い、低炭素化と災害への備えを進めてまいりました。今後も引き続き、児童生徒の安全安心な学習環境等の実現のため、必要な学校施設の整備を進めてまいります。

(3) コミュニティ・スクール、小中一貫教育の推進 【学校教育室】

令和2年度に、市内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとなり、小中一貫教育も全中学校区で本格実施となりました。義務教育9年間を見据えて、子どもの育ちと学びに合った連続性のある体系的な指導を一貫して行うことにより、一人ひとりの多様な個性・能力を最大限に伸ばしてまいります。

(4) GIGAスクール構想の実現

【学校教育室】

現在、市内全ての小・中学校に、児童生徒1人1台の学習用端末と高速Wi-Fi通信ネットワーク等の一体的な整備を進めております。中学校では、1月中に環境を整え、授業等での活用を始めます。多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりの適正や能力に応じた「公正に個別最適化された学び」を持続的に実現させてまいります。

(5) 三重とこわか国体に向けた取組

【国体推進室】

本年9月に開催される「三重とこわか国体」において、本市は正式競技のホッケー、軟式野球、弓道の開催地となります。また、本年6月には、デモンストラレーションスポーツのターゲット・バードゴルフが、8月には公開競技の綱引がそれぞれ開催される予定です。開催までに十分な準備を行い、万全な体制で選手や大会関係者

をお迎えさせていただきたいと思っております。

5. 未来につなぐ自立と協働による市政経営

(1) 行財政改革のさらなる取組 【行政改革推進室】

本年は、行政運営の一層の効率化を図り総合計画に掲げる施策を効果的に推進するため、行政手続に係る押印見直しを進めるなど、市民の利便性向上や職員の「働き方改革」を推進してまいります。また、公共施設等の有効活用や持続可能な財政基盤の確立に向けた取組も引き続き進めてまいります。

(2) 移住・定住の取組 【地域活力創生室】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、都市部から地方へ生活の場を移す地方移住への関心が高まっております。こうした地方への人の流れを促進し、本市の強みである豊かな自然環境や、大阪・名古屋へのアクセスの良さ、さらには多様な働き方の選択肢や「農のある暮らし」などの新たなライフスタイルをさまざまな媒体を使って提案し、引き続き、移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大を図る取組を進めてまいります。

(3) 協働のまちづくり 【地域経営室】

市政推進のパートナーである地域づくり組織のさらなる発展に向け、住民主体の地域づくり活動を支援し、協働・連携しながら、本市の目指す住民自治のまち、地域共生社会の実現に向けて、市民とともに引き続き取り組んでまいります。

(4) マイナンバーカードの更なる普及促進 【総合窓口センター】

今後、急速に進むことが予想されるデジタル社会への転換に向けて、マイナンバーカードの更なる普及促進に取り組んでまいります。

○ むすびに

以上、年の初めにあたり、主な施策を申し上げます。

本年も旧に倍するご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。